

外国人労働者と私たちのつながりを見つけよう

【目的】

技能実習生をはじめとする外国人労働者と私たちがあたりまえに馴染んで生活できる社会をつくる。
こういったアプローチを通して、誰もが生きやすい場所をつくることにつなげたい。

甄凱さん（岐阜一般労働組合）
避難している技能実習生2人

“居場所のない実習生に寄り添うサポート”

- # 強制帰国
- # 相談窓口
- # 労働環境

武井さん（有限株式会社南安鉄工所）
技能実習生6人（インドネシア・ベトナム）

“技能を身につけ、右腕となってほしい”

- # 日本語学習
- # 宗教による食べ物の規制
- # 日本人との交流

りんぐえっじ（未就学児日本語支援団体）

“小学校入学前の子どもたちが
日本語に触れる機会をつくる！”

- # 外国籍の子どもたち
- # 遊びながら日本語学習
- # 富裕層以外への情報発信
- # 意識改革

鳥井さん（移住連）

“排除的な労働環境・社会を変える！”

- # 入管法改正案
- # 移民
- # 日本人の排外意識
- # 共生社会

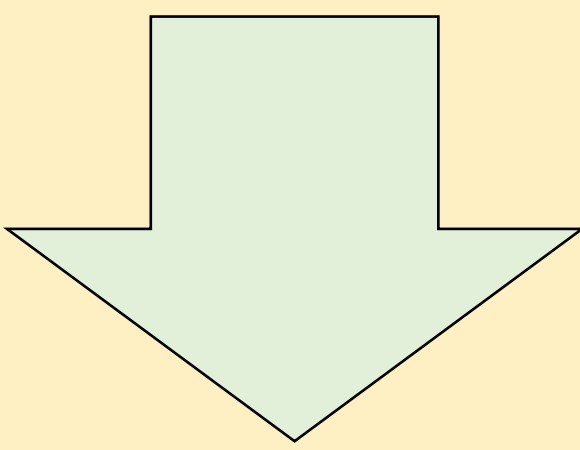
ぱれっとJOYO
大久保さん（城陽市国際交流協会）

“日本で働く外国人へサポートを”

- # 教育システムのギャップ
- # 曖昧な義務教育の編入制度
- # 進路選択の自由
- # 日本人との交流
- # 多忙な中での日本語学習
- # 同世代のボランティアの必要性



インスタ開設しました！これから活動や取材内容を発信します！



今後の活動

学校教育

言葉・文化でなく心で繋がる

小学校や幼稚園とインターナショナルスクールの農業や共同ペイント、遊びなどを通じた交流。



「外国人」という認識をなくす

創作料理

技能実習生の食を考える

ハラルの食事を技能実習生とともに考案。学食やレストランで提供。



実習生にとっては食事を通じた住みやすさ、私たちにとっては彼らを知ることにつながる

支え合い制度

外国人と住民の支えあい

外国人労働者と私たち日本人がペアとなり、農業・料理・生活を共にする



彼らにとっての“頼れる人”をつくる。

まとめ

現状
多くの外国人労働者が精神的・体力的に苦しんでいる
→心のよりどころがない、時間外労働

訪問
解決には日本人の意識改革が必要

解決策
・学校教育
・創作料理
・支え合い制度